かつうら

議会だより

№ 141

平成２４年５月
勝浦市議会報
編集委員会
電話 0470(73)6662

郁文保育所最後の卒園式

郁文保育所閉所式

2月臨時会の経緯 …2ページ
3月定例会の経緯 …2ページ
常任委員会の審査内容 …2ページ
議員提出議案（議員発議） …3ページ
予算審査特別委員会 …3ページ
議会トピックス …5ページ
一般質問 …6～9ページ
2月臨時会・3月定例会議案審議結果 …10ページ
みなさんの議会を傍聴しませんか
編集後記

2月臨時会

保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正及び勝浦市議会委員会条例の一部改正を可決

平成24年2月臨時会が2月14日に開かれました。

本臨時会では、市長提出議案の保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議員提出議案の勝浦市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についてなど2件の議案を審議しました。

その結果、議案1件、発議案1件はいずれも原案のとおり可決されました。

◆議案第1号　保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

勝浦市立郁文保育所及び中央保育所を統合するため、本条例の一部を改正しようとするもの

問　今後、少子化問題と震災から子どもたちを守るために、どういう方向性を持って保育所の統廃合を進めていくのか

答　6つの保育所を将来どうするかについては、現在のところ中央保育所を建てかえようと第1次実施計画で、25年度に設計業務に入りたいという予定、計画になっております。

◆発議案第1号　勝浦市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

勝浦市課設置条例の一部を改正する条例の施行に伴い、教育民生常任委員会の所管中、環境防災課を生活環境課に改める等のため、本条例の一部を改正しようとするもの

3月定例会

平成24年度各会計予算、勝浦市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正など21議案を可決

平成24年3月定例会は、3月1日から3月21日までの会期21日間で開かれました。

本定例会では、平成24年度予算など市長提出議案20件のほか、諮問1件、請願1件、陳情1件、議員提出議案1件（意見書1件）を審議しました。

その結果、議案20件及び諮問1件、発議案1件は原案のとおり可決され、請願1件、陳情1件が採択となりました。

常任委員会の審査内容

今期定例会では、総務常任委員会を3月12日、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会を3月13日にそれぞれ開催し、付託された議案・請願・陳情の審査を行いました。

その審査結果が3月21日の本会議で各委員長から報告され可決（採択）されました。

総務常任委員会

◆議案第7号　千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

千葉県市町村総合事務組合の組織団体である銚子市及び松戸市より、平成24年4月1日から共同処理の追加依頼があったことから、千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正することについて、関係地方公共団体と協議するに当たり、議会の議決を求めようとするもの

◆議案第8号　夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

広域ゴミ処理施設の建設に伴い、当該事業に要する経費について新たにごみ量割を付加した負担割合として負担の公平性を図るべく、夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正することについて、関係地方公共団体と協議するに当たり、議会の議決を求めようとするもの

◆議案第9号　一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告、千葉県人事委員会勧告を踏まえ、関係条例の一部を改正しようとするもの

◆議案第10号　勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について

経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための地方税法及び地方法人特別税等に関する暫定措置法の一部を改正する法律並びに東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律が平成23年12月2日に、地方税法の一部を改正する法律が平成23年12月14日にそれぞれ公布されたこと等に伴い、本条例について所要の改正をしようとするもの

教育民生常任委員会

◆議案第11号　勝浦市公民館条例の一部を改正する条例の制定について

公民館運営審議会委員の委嘱について、社会教

育法等の一部が改正されたことに伴い、本条例の一部を改正しようとするもの

◆議案第12号　勝浦市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

子ども医療費助成対象者を小学校修了前から中学校修了前までに拡大し子育て支援の拡充を図るため、本条例の一部を改正しようとするもの

◆議案第13号　勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険事業の安定的運営と他の保険制度及び保険者との整合性を図るため、本条例の一部を改正しようとするもの

◆議案第14号　勝浦市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

介護保険料率の適用年度及び保険料額を変更するため、本条例の一部を改正しようとするもの

◆陳情第1号　産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言を求める陳情（内容は議会トピックスに掲載）

建設経済常任委員会

議案第16号の審査にあたり、認定する3路線について現地視察を実施しました。

建設経済常任委員会現地視察

◆議案第15号　勝浦市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により公営住宅法の一部が改正されることに伴い、本条例について所要の改正をしようとするもの

◆議案第16号　市道路線の認定及び廃止について

既存市道の終点を変更することによる廃止及び認定、また、平成17年5月20日及び平成22年11月19日に寄付された道路をそれぞれ認定しようとするもの

◆請願第1号　地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願

全員賛成で採択し意見書を提出することに決定しました。

人事案件

◆諮問第1号　人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の推薦にあたり、人権擁護委員法第6条第3項の規定により次の方を推薦することについて、議会の意見を求めようとするもの

住所　勝浦市墨名683番地
氏名　馬　芳郎
年齢　64歳

議員提出議案

議員提案により発議が提出されました。

◆発議案第2号　地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書について

全員賛成で可決され、意見書については、関係行政庁へ送付されました。

平成24年度予算を審査
予算審査特別委員会

平成24年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、5会計の歳入歳出予算等を審査するため、7人の委員による特別委員会を設置しました。

この委員会は、各会計の歳入歳出予算等を審査し、採決の結果、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計は賛成多数で、それぞれ原案のとおり可決され、本会議最終日に委員長から報告されました。

委員会の審査内容については、議会トピックスの委員長報告書をご覧下さい。

なお、委員は次のとおりです。

委員長　土屋　元
副委員長　岩瀬　洋男
委員　板橋　甫
　　鈴木　克己
　　戸坂　健一
　　根本　譲
　　藤本　治

◆議案第17号　平成24年度勝浦市一般会計予算

長期的視点に立ったまちづくりを進めるための勝浦市総合計画前期基本計画及び第1次実施計画の計画事業を中心に予算編成されており、防災対策の強化を念頭に入れ、少子高齢化対策や地域活性化対策を積極的に盛り込んだ予算計上であり、妥当と認めました。

◆議案第18号　平成24年度勝浦市国民健康保険特別会計予算

事業勘定では、医療費の動向に配慮するとともに、健全な財政運営を基本とした事業の推進に必用な予算の計上であり、直営診療施設勘定では、公立の診療所としての適切な医療を行うために必要な予算の計上であり、妥当と認めました。

◆議案第19号　平成24年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算

後期高齢者医療支給対象者の医療給付に必要な予算計上であり、妥当と認めました。

◆議案第20号　平成24年度勝浦市介護保険特別会計予算

高齢者の介護を社会全体で支える社会保障制度に必要な予算計上であり、妥当と認めました。

◆議案第21号　平成24年度勝浦市水道事業会計予算

上水道事業として市民に生活用水等を供給するための必要な予算計上であり、妥当と認めました。

平成24年度各会計予算規模

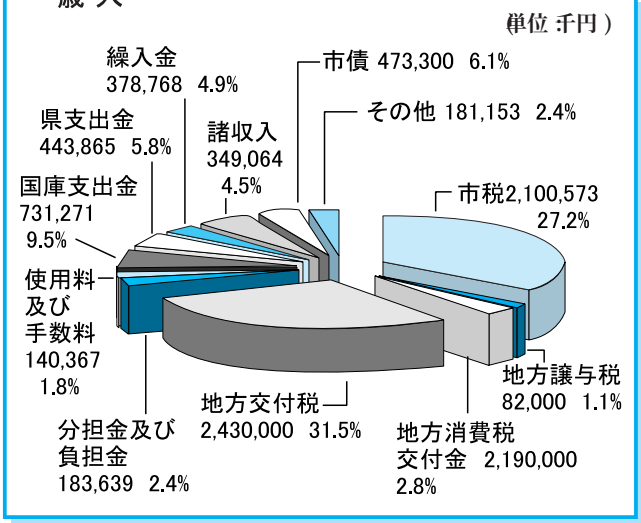
（単位：千円・％）

会計名			２４年度当初	２３年度当初	比較増減	増減率
一般会計			7,713,000	7,910,000	△197,000	△ 2.5
特別会計等	国民健康保険		3,006,199	3,026,895	△ 20,696	△ 0.7
		事業勘定	2,931,360	2,948,889	△ 17,529	△ 0.6
		直営診療施設勘定	74,839	78,006	△ 3,167	△ 4.1
	後期高齢者医療		229,930	214,374	15,556	7.3
	介護保険		2,022,490	1,722,453	300,037	17.4
	水道事業		958,748	964,770	△ 6,022	△ 0.6
特別会計等小計			6,217,367	5,928,492	288,875	4.9
合計			13,930,367	13,838,492	91,875	0.7

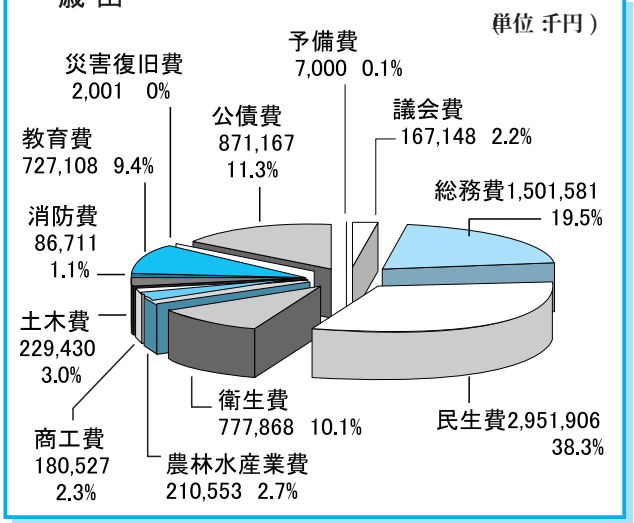
※水道事業会計（法適）の予算規模＝収益的収支・支出〔経常費用（営業費用＋営業外費用）－減価償却費〕＋資本的収支・支出
＝〔(713,569＋57,777)－126,291〕＋313,693＝958,748

平成24年度一般会計歳入歳出予算

歳入



歳出



【議会日誌】

２月
- ２日　千葉県自治体病院経営都市議会協議会行政視察（市川市）
- ６日　議会改革検討委員会行政視察（山武市）
- ９日　議会運営委員会
- 13日　黒船ハーマン号慰霊祭
- 14日　２月臨時市議会
- 17日　国保運営協議会
- 23日　南房総広域水道運営協議会（大多喜町）
- 24日　夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会定例会（いすみ市）
- 27日　議会運営委員会

３月
- １日　３月定例会　本会議
- ２日　〃　本会議
- ６日　〃　一般質問
- ７日　〃　一般質問
- ８日　〃　本会議
- ９日　〃　本会議
- 12日　総務常任委員会
- 13日　教育民生常任委員会
- 14日～16日　建設経済常任委員会
- 21日　予算審査特別委員会本会議（最終日）

４月
- ５日　交通安全出動式
- ６日　千葉県市議会議長会事務局長会議（千葉市）
- 20日　千葉県市議会議長会定例総会（千葉市）　千葉県南12市議会議長会事務局長会議（千葉市）
- 25日　関東市議会議長会定例総会（横浜市）
- 27日　議会報編集委員会

議会トピックス

予算審査特別委員長報告

今期定例会において予算審査特別委員会に付託されました議案の審査経過と結果について、その概要をご報告申し上げます。

なお、審査の過程において各委員から質疑・意見・要望等が出されましたが、その主なものを申し上げますと、一般会計歳入について、財政調整基金３億５千万円の取り崩しの根拠及び目的についてただしたところ、財政調整基金は財源関係を調整するためにあり、今回は学校関係の設計、地質調査や給食センター等一部起債のきかない国庫補助対象でない事業も多いことから一般財源を充てなければならないと答弁がありました。

次に、歳出では市内路線バスの運行維持費補助金に関し、路線によっては乗客のいない路線も一部あり、継続することがいいのかという議論もあることから、今後研究していく必要があるのではとただしたところ、本市全域を住民の足の確保を考えているが、今後市民バスをうまく利用できるか、また事業費や他の交通事業者等の問題もあることから今後検討していきたいと答弁がありました。

次に、保育所については高台移転や統廃合問題を考えているようだが、今後幼稚園との幼保一元化の考えがあるかただしたところ、現在政府では幼稚園と保育所を一体化した総合子ども園の創設を柱とした子ども子育て新システムに関する基本制度をまとめ、関連法案を国会に提出するという状況であることから、国の動向を注視していきたいとの答弁がありました。

次に、国民健康保険特別会計では、特定健康診査において新たな増員対策を考えたのかただしたところ、駐車場を確保するため、日本武道館研修センターを使用するとともに、勝浦市夷隅郡医師会とも協議し、新たに夷隅郡市内統一したポスターを作製するとの答弁がありました。

次に、介護保険特別会計について、介護保険料が第１、第２段階の人にとって重くなっているのでこの改善を求める要望がありました。

次に、水道事業会計について、水道ビジョンに基づき平成２４年度から４年間で未給水区域の解消を図ろうとしているが、一部解消できない区域への対応をただしたところ、地域からの要望書もきていることから、最終的には皆水道となるよう対応していきたい、また、水道料金の引下げについては、高料金対策について今後の財政見通しを協議し、深く研究したいと答弁がありました。

産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言を求める陳情を採択し、猿田市長が宣言

「産業廃棄物管理型最終処分場建設反対地元住民の会」から市議会に提出された産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言を求める陳情について、３月１３日の教育民生常任委員会で採択され、３月２１日の議会最終日の本会議で全会一致で採択されたことから、議場において猿田市長が「産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言」を行いました。

・・・一般質問・・・　市政のココが聞きたい

３月６日・７日の２日間、市政全般について一般質問が行われました。

６日	岩瀬　洋男 1.勝浦市水道ビジョンについて	
	藤本　　治 1.２４年度予算編成への基本姿勢について 2.介護保険料の負担軽減について 3.市民文化会館の規模拡大と他の政策課題への影響について 4.防災のまちづくりについて 5.放射線からの防護について 6.東京電力による損害賠償について 7.エネルギーの地産地消について	
	佐藤　啓史 1.友好都市との交流について 2.婚活男女の交流促進について 3.元新戸小学校の跡地利用について 4.勝浦市の歴史・文化遺産について	
	磯野　典正 1.消防・防災体制の充実について	
７日		鈴木　克己 1.農業の振興対策について 2.農用地の有効活用と利用促進について
		戸坂　健一 1.市内保育所について 2.市ホームページについて
		根本　　議 1.コンビニ納付について 2.農林行政について

勝浦市水道ビジョン『目指すべき将来像』について

岩瀬　洋男　議員

問　勝浦市水道ビジョンによると、多くの事業とともに、平成28年度から料金の値上げが計画されています。

すでに千葉県で一番高いと言われる料金を上げることが、「目指すべき将来像」と言えるのか、一般家庭の場合、１世帯当たり、値上げはいくらになると想定しているのか。

答　料金改定を事業計画書のとおり行ったとして、１ヶ月20立方メートルを使用した場合、現在の料金５千145円が５千917円となり、15％の引き上げになるものと想定している。

問　料金改定の要因として夷隅川の水質悪化による佐野浄水場の「ろ過」方式の変更等の設備投資があげられている。

今まで通りの「ろ過」方式を継続し、佐野浄水場の設備投資を抑えることは出来ないのか。

答　今後、水質の悪化が進んで、現在の「ろ過」方式で対応できなくなった場合は、再度詳細な分析を行い対応することが必要である。

ただ、人口減少等で市内で使われる水の量も減ってくるので、佐野浄水場の適切な補修、修繕を行い、延命を図って設備投資を抑えていくことができれば、料金改定に関しても検討の余地がでてくると考えられる。

問　佐野浄水場の水は、国道297号線に沿って主に総野と勝浦地区に配水されています。

利根川の水を浄水した南房総広域水道の水は鵜原で受水し、主に興津と上野地区に配水されています。

その広域水道からの受水を増やして、勝浦地区にも配水すれば、佐野浄水場の作業負担が減り、設備投資を抑制することができ、料金を抑えることが出来るのではないか。

答　南房総広域水道水は全量の３分の１。佐野浄水場の水は３分の２の量となっている。

現在、南房総広域水道企業は大多喜ダムの中止で水量を増やすことが出来ないので、これ以上勝浦市に配分してもらうことは難しいと思われる。

従って、これ以上広域水道水の受水を増やし、佐野浄水場の負担を減らすことは出来ないと思われる。

問　課題が多いことも理解できるが、料金を上げないためにどのような工夫が必要だと思うか。

答　経営計画に沿い実施していくこと。それと、今まで勝浦市は直営で職員が全て対応してきた。

早い対応ができて良い面はあるが、人件費比率が高い面もある。

今後は委託化を図りながら経費の削減を図ることも必要である。

また、一般会計から繰り入れることも考えられるが、防災対策等早く実施しないといけない課題が多く厳しい状況である。

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は勝浦市議会会議録をご覧下さい。

藤本　治 議員

予算編成に対する市長の基本姿勢

問 市民の要望である水道料金、ごみ袋代や国保税などの負担軽減について、市長は必要性を認めていますが、当初予算の編成にあたってどう対応したか、伺います。

答 当初予算編成にあたり、今回は防災対策がまさに喫緊の課題であり、学校の耐震関係、保育所の高台への移転、これらを優先した次第で、決して水道料金が高いということを忘れているわけではございません。

問 介護保険制度が「公費負担2割）」という財政構造に縛られるかぎり、自治体は「保険料値上げか給付の削減か」のジレンマから抜け出せません。国の制度に矛盾の根源があり、市長には積極的に国庫負担の大幅な増額を求めていただきたい。

答 ご意見は承っておきます。

問 市民文化会館が当初18億円の予算規模から25億円へと増額されたことにより、水道料金の値下げが後に回されたと理解していますが、違うんでしょうか。

答 文化会館の件は12月議会でるる議論いただきました。今回の当初予算では防災対策が優先され、これが今後しばらく継続いたします。政策の選択として、平成24年度当初には水道の高料金対策はできなかったということです。

大震災と原発事故から一年にあたって

問 海に面する勝浦市にとって津波への備えが緊急・最大の課題です。避難訓練などに裏付けられて、避難場所や避難路の整備・拡充をすすめていく必要があります。

答 津波対策の強化として、公共施設の配置の検討、防護施設や避難路などの整備、ソフト対策として防災意識の向上や避難訓練を実施したいと考えております。

問 今後の放射線への監視は、移動・濃縮により形成されるホットスポットを見落とすことのないようにすべきです。しかしそのためには「市民の参加」の仕組みをつくることがカギです。

答 当面、従前と同じようにやります。ただ、いろいろな情勢でやり方を変えていくことも、検討したいと思います。

問 直接被害の賠償も認められる可能性が開かれました。市としても援助する必要があります。

答 東京電力の協力で、市でも説明会を開催したいと考えています。

問 原発から撤退し、自然（再生可能）エネルギーを地産地消でまかない、雇用や地域おこしにつながる展開が求められています。

答 原発からは徐々に離れていくのかなと思いますが、国の方でも議論しているので見守っていきたいと思います。

佐藤　啓史 議員

友好都市との交流について

問 友好都市を結ぶ目的は何か。

答 市民の文化交流や親善を図り、相互理解を深め、地域の振興、活性化等に結びつけていくものであると考える。

問 勝浦ネットワーク及び西東京市との今後の交流をどう考えているか。

答 勝浦ネットワークについては、ひな祭り等を通じ、更なる連携を図っていきたい。西東京市については、本市の地域資源を生かして産業の活性化等に結びつけていきたい。

問 全国には、自治体名とはなっていないものの、「勝浦」の地名を残す自治体がある。そこで勝浦の名を残す自治体を加えた拡大勝浦ネットワークを提案する。

答 今のところは直ちに呼びかけをする考えはないが、縁が結ばれる動機づけがあれば検討したい。

婚活支援について

問 結婚相談員の活動状況や実績を伺いたい。

答 ふれあいパーティー及び登録者との意見交換などの活動をしてきた。婚姻件数は平成14年度を最後に実績はない。

問 勝浦縁結び隊や仲人奨励金制度の創設を提案する。

答 創設の可能性を検討したい。仲人奨励金制度については、慎重を期す必要があると考える。

問 独身男女の出会いの場創出と地域活性化を融合させたイベント「街コン」の開催を提案する。

答 関係各課、各種団体などと協議して、検討したい。

元新戸小学校の跡地利用について

問 給食センターの移転改築に対する地元対応についてお聞きする。

答 地元の新戸区をはじめ各区についても説明会を予定している。

問 地元住民が利用できるコミュニティスペースの併設を求める。

答 衛生管理上併設することはできない。

問 通行車両や歩行者の安全確保を考えた道路環境整備が必要ではないか。

答 設計の段階から関係各課と協議したい。

勝浦市の歴史・文化遺産について

問 勝浦市の歴史・文化遺産の継承とこれまでの取組についてお聞きする。

答 先人の残した貴重な文化遺産は宝物であり、将来に向けて引き継ぐべき共有の財産である。これまでに勝浦市史の発行、文化財や天然記念物の維持管理、保存に取組んでいる。

問 ハーマン号を世に出す会の目的は。

答 ハーマン号遭難の史実に光を当て、本市の歴史の記録に残し、後世に語り継いでいこうとするものである。

問 養珠院お万の方の大河ドラマ化への取組みを提案する。

答 資料や史実が少ない事から、大河ドラマ化は難しいと考えている。

磯野 典正 議員

地域防災計画の見直しについて

問 (1)勝浦市防災計画の見直しについては、国・県の方針に基づき、各自治体ごとに修正されてきているが、毎年修正をされているものなのか？そして市としての防災計画の見直しはいつ頃までに行う予定なのか？

答 (1)国の防災基本計画の修正は平成23年12月27日に行われた。県は国の防災基本計画の修正を踏まえ、平成24年2月9日に基本方針が決定した。市では実情を考慮し、県の進捗状況を見ながら進めるが、市としては今年度中に作成する予定。

避難路の整備ついて

問 (1)震災後の避難路の整備・今後の整備の計画はどのようなものか？

答 (1)日頃から住民への周知徹底・避難路の安全性の点検・避難誘導標識の設置・防災ブックに津波浸水想定区域などを示し周知している。今後は避難路への手すりの設置または、津波避難誘導標識設置を考えている。

問 (2)自主防災組織は市内でどの位の地域に設立されているのか？

答 (2)自主防災組織は、市内5団体（浜勝浦・墨名・興津・勝浦・市野川）地区で設立されている。

問 (3)自主防災組織への行政側の支援はどのようなことをされているのか？

答 (3)自主防災組織設立にあたっての説明・規約等の事例の提供や、防災に必要な物品の貸与または防災訓練の手伝いを行っている。

消防防災組織について

問 (1)消防防災組織の位置づけとは？

答 (1)消防団は市長が管理する市の消防機関であり、各種災害において市民の生命、身体、財産を保護するとともに災害を防除し、これらの災害による被害を軽減することを任務とする重要な役割としている。

問 (2)3・11以降の消防組織に対する市民の期待は大きくなっていると考えるが、今現在の消防団員の人数はどの位いて、内女性消防団員はどの位いるのか？

答 (2)現在420名の団員の中に3名の女性消防団員がいる。

問 (3)今後女性消防団員の増員を考えるか？

答 (3)女性としての活動の場であったり、女性だからできることもあると思うので、促進していく考えでいる。

問 (4)地域にとって重要とされている消防団に対する手当ての見直しは考えられるのか？

答 (4)団員報酬とは別に災害・警戒・訓練出動などの手当てを1人1回千900円支給しているが、消防庁の方からは、東日本大震災を踏まえ、消防団員の安全・装備・教育・訓練なども含めた処遇改善も検討しているため、その動向を見守っていきたいと考えている。

鈴木 克己 議員

農業の振興対策について

問 農地基盤整備事業は、平成16年度以降実施されていない。これまでの取り組み状況と計画した事業が進展しなかった理由について問う。

また、現在の基盤整備率は、30％とのことであるが、少なくとも60～70％位の整備が必要と思うがいかがか。

答 上野・大楠の両地区において市、県、土地改良区で関係者に対し説明会を行ったが、事業対象には、一定規模の農地を纏めることや費用負担等から合意形成には至っていないことが原因であると考える。現状の基盤整備率は低い。これまで、いろいろな要因があったと思うが、今後の農業を考える上で、地域の方に説明し納得いただき、特にほ場整備の推進を進める必要があると思う。

問 耕作放棄地の現状をどのように捉えているのか。また増え続ける鳥獣被害への対応方針を示されたい。

答 ここ十数年は、高齢化による離農、担い手不足、イノシシなどの有害鳥獣被害により、谷津田の他、比較的耕作条件の良い農地でも放棄地が発生している。このままでは、衰退の一途をたどるため、基盤整備事業を推進し、効率的な営農に取り組む担い手への集積、耕作放棄地の発生抑止、解消に努める。

今後の有害鳥獣対策については、数を減らすための罠による捕獲、防護柵による防護と収穫時期には追い払い効果の高い一斉捕獲による対応も必要であると考える。

問 農業振興地域整備計画の見直しが、平成25年度実施となっているが、計画の施策、方向性と未整備地区への対応について伺う。

答 関係機関の意見を聞き、方向性を決定する。未整備地区では、基盤整備に重点を置く方針です。

農用地の有効利用と利用促進

問 勝浦市総合計画前期基本計画には、農業の振興、施策の展開に農業資源の活用促進のため、遊休農地などを活用し、都市住民と地域住民、企業などとの交流とあるが、具体的に説明を。

答 市はこれまで、関係団体等と共同し、農業・農村の活性化を目的に、コスモスフェスタIN勝浦を開催し、交流を図ってきた。今後は、年間を通した交流に取り組む必要があることから農業体験等を通じた交流を図っていきたい。

問 農地取得の下限面積を10ａまで緩和できることとなったことから、遊休農地解消、農地有効利用と新規参入促進のためにも政策として、農業委員会との協議により下限面積を緩和してはどうか。

答 農地取得基準の決定権者である農業委員会、農業者、地域の意見を伺い10ａ取得要件について研究する。

戸坂　健一　議員

市内保育所の災害発生時の対応について

問 昨年の東日本大震災発生時、電話が混線、各保育所長が個別の判断で避難に対応した。災害発生時の連絡網について、改善・強化の必要があると考えるが、市の見解は。

答 現在、災害時優先電話の周知を図っているが、現状では避難場所からの連絡は各保育所長が所有する携帯電話またはメールに頼らざるを得ない状態にある。今後、防災行政無線の活用や、移動系ＭＣＡ無線の導入等も含めて、改善を検討していきたい。

問 沿岸部の各保育所の津波発生時の避難経路について、避難場所への経路が狭い場所も見受けられるが問題はないか。

答 市は避難経路を把握し訓練も実施している。問題無き様対応する。

郁文保育所跡地の利活用について

問 本年3月で閉園となる郁文保育所の跡地について、どのような利用計画があるか。また、跡地をただ取り壊すのではなく、趣のある校舎を活用し、交流施設や宿泊施設として使用するなど固定観念に捕われない、自由な発想で跡地の有効利用を模索する必要があると考えるがどうか。

答 郁文保育所の跡地利用計画は現時点で決まっていない。今後、市有地活用庁内検討委員会で検討していく。

市ホームページの徹底改善の必要性について

問 現在、勝浦市のホームページは時代の波に乗り遅れた前時代的なものになっており、利便性も低くアクセス数も伸び悩んでいる。市の公式ＨＰは、まさに自治体の「顔」であり、全国の自治体が先進的な取組を実施している中勝浦市だけが取り残されている。勝浦市においてもホームページの徹底改善が必要であると考えるが。

答 市ホームページ改善の為の経費を新年度予算に計上する。より検索し易く、読み易いものにしていきたいと考える。

問 ホームページ改善には現状の分析と反省が必要と思うが、市民から不評の原因等々改善に向けた分析はしているか。また、市の情報管理に関する基本姿勢や職員のＨＰ運営に関する習熟度が変わらない限り良いＨＰは出来ないと思うが。

答 現状、検索機能が低く、市民が利用し辛い、文字サイズの変更なども出来ないなどの不便が多い事は認識している。また今後、各課の代表者を集め庁内における審議等を通じて、ＨＰの構築に関する検討・研究を重ねて行きたいと考える。

問 動画配信や、フェイスブック等のＳＮＳサービスの導入は。

答 フェイスブック等のＳＮＳサービス導入については、研究検討した上で事業効果に見合うものは導入していきたい。動画配信についても対応出来る様検討する。

根本　譲　議員

コンビニ納付の推進について

問 税額が30万円以下の場合、コンビニで納付する事が出来るようになり以降多数の自治体で市税のコンビニ納付を導入しております。多くの市民の利便性を考えるならば導入すべきと思うが。

答 指定機関に加え、土日祝日に関係なく収納可能なコンビニを収納窓口とする事は、支払い側に対する利便性の向上が図られるものと考えます。利用者の絶対数が少ない本市におきましては利便性の向上は図れるものの、費用対効果では期待できない面もあります。しかし、社会ニーズがある事を踏まえ、コンビニ収納導入については、平成24年度を調査期間とし、総合的に判断してまいります。

農地・水管理支払交付金について

問 国において平成23年度終了の5ヵ年計画が平成24年度以降も継続する事業と伺っております。市として手を挙げたのは、市野川・杉戸・松野・原の4地区と聞いております。環境保全は、どの地域にとっても大事な課題であります。継続になったことで市として積極的に推進を図るべきと思われるが。

答 本交付金を活用した取り組みを行うためには、農業者を加えた地域住民や農業者以外の構成員が参画する活動組織を設立し、市と協定を締結する必要があります。平成23年度において、勝浦市では市野川・杉戸・松野・原の4地区で事業を実施しておりますが、過疎化・高齢化に伴う集落機能低下により、農地や農業用水等の適切な管理・保全が困難になってきたことから、活動組織が地域協同で行う管理仕組みは、本市においても有効なものと考えますので、地域の代表者等に説明し、推進してまいりたいと考えます。

改正農地法の勝浦市の現状について

問 衰退する農業に歯止めをかけ、農業再生の大きな一歩とするために、改正農地法が成立した背景があります。内容は、農地の賃貸に関する規制を大幅に緩和し、一般法人等の参入を容認したことで一般企業やＮＰＯ等も参入しやすくなり賃貸借期間も50年に延長することになりました。企業の農業参入はＴＰＰ参加が、検討されている今日、日本の農業を守る意味でも重要な取り組みである。企業の農業参入に対する本市の考え方をお聞きしたい。

答 農地の情報提供や県の補助事業として、機械・施設整備等に対し助成する企業等農業参入促進支援事業が挙げられると考えます。

2月臨時会審議結果

議案番号	件　　名	結 果
議案第　１号	保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
発議案第１号	勝浦市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎

3月定例会審議結果

議案番号	件　　名	結 果
議案第　２号	平成２３年度勝浦市一般会計補正予算	可決◎
議案第　３号	平成２３年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	可決◎
議案第　４号	平成２３年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決◎
議案第　５号	平成２３年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	可決◎
議案第　６号	平成２３年度勝浦市水道事業会計補正予算	可決◎
議案第　７号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決◎
議案第　８号	夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決◎
議案第　９号	一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第１０号	勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第１１号	勝浦市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第１２号	勝浦市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第１３号	勝浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第１４号	勝浦市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決○
議案第１５号	勝浦市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決◎
議案第１６号	市道路線の認定及び廃止について	可決◎
議案第１７号	平成２４年度勝浦市一般会計予算	可決○
議案第１８号	平成２４年度勝浦市国民健康保険特別会計予算	可決○
議案第１９号	平成２４年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算	可決○
議案第２０号	平成２４年度勝浦市介護保険特別会計予算	可決○
議案第２１号	平成２４年度勝浦市水道事業会計予算	可決○
諮問第　１号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	採択◎
請願第　１号	地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願	採択◎
陳情第　１号	産業廃棄物最終処分場建設に反対する都市宣言を求める陳情	採択◎
発議案第２号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書について	可決◎

◎全会一致　○賛成多数

編　集　後　記

議会だより第141号をお届けします。

本号は、平成24年２月臨時会及び３月定例会について編集いたしました。

詳しい内容は、市立図書館及び市役所情報公開コーナーに備えてあります『勝浦市議会会議録』をご覧下さい。また市のホームページにおいてもご覧いただけます。（http://www.city.katsuura.chiba.jp）

お気づきの点やご意見、ご要望がありましたら、勝浦市議会報編集委員会までお知らせください。

勝浦市新官1343-1　勝浦市議会事務局内
勝浦市議会報編集委員会　☎７３-６６６２

みなさんの議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局へお申し出ください。

【傍聴者の状況】
平成23年６月定例会　102名
平成23年９月定例会　 40名
平成23年12月定例会　 68名
平成24年３月定例会　 47名